

公益社団法人愛知県医師会 第15回(定例)理事会議事録

開催日時：令和元年8月22日(木) 午後2時30分～午後4時55分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木充明

副会長(代表理事)／城 義政 市川朝洋 杉田洋一

理事／伊藤健一 加藤雅通 大輪芳裕 西山 朗 檜尾富二

樋口俊寛 瀨瀨雅明 細川秀一 野田正治 林 義久

浅井清和 湯澤由紀夫 田那村 收 小出詠子 渡邊源市

監事／川上雅正 野口良樹

代議員会議長／服部達哉

代議員会副議長／伊藤宣夫 山本 楯

欠席者

監事／横井 隆

議事録作成者 加藤結花

※加藤理事、遅刻のため、承認事項については出席者24名(うち理事18名)にて審議した。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者24名(うち理事19名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

- ①公益財団法人愛知県アイバンク協会(理事長 寺崎浩子)・愛知県眼科医会(会長 湯口幹典)主催の「目の愛護デー記念式典」[10/29(火)]並びに「中央講演会」[10/16(水)]の後援及び会場使用料免除について

- ②西尾市医師会(会長 米津昌宏)主催の日医認定産業医研修会(実地研修)〔11/6(水)〕の共催について
- ③公益財団法人鈴木謙三記念医科学応用研究財団(理事長 別所芳樹)主催の第77回学術講演会〔12/5(木)〕の後援について
- ④一般社団法人刈谷医師会(会長 丸上善久)主催の日医認定産業医研修会〔R2. 2/29(土)〕の共催について
- ⑤豊橋市医師会(会長 安井洋二)主催の日医認定産業医研修会〔R2. 2/12(水)・13(木)〕の共催について

榎尾理事より説明され、上記1-(1)-①～⑤について一括承認を求め、承認された。

- (2)第55回日本医学放射線学会秋季臨床大会(大会長 外山 宏：藤田医科大学医学部放射線医学教室教授)主催の第55回日本医学放射線学会秋季臨床大会市民公開講座〔10/20(日)〕の後援について
榎尾理事より説明され、承認された。

- (3)公益社団法人日本精神神経科診療所協会2020年度定時総会・第26回(通算47回)学術研究会(大会長 内藤泰宏：愛知県精神神経科診療所協会会長、副大会長 高井昭裕：岐阜県精神神経科診療所協会会長 森本義典：三重県精神神経科診療所協会会長)主催の「公益社団法人日本精神神経科診療所協会2020年度定時総会・第26回(通算47回)学術研究会」〔R2. 6/6(土)・7(日)〕の後援について
榎尾理事より説明され、承認された。

- (4)令和1年度第7回知多藤医会学術講演〔11/30(土)〕への講師派遣について
榎尾理事より説明され、本会の加藤理事を派遣することが承認された。

- (5)在宅医療シンポジウム〔9/28(土)〕への講師派遣について
榎尾理事より説明され、本会の野田理事を派遣することが承認された。

- (6)京都府医師会・令和元年度第3回京都在宅医療戦略会議〔12/21(土)〕への講師派遣について
榎尾理事より説明され、本会の野田理事を派遣することが承認された。

2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

柵木会長より、以下のNo. 1～4の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催について一括承認を求め、承認された。

*は共催・協賛等

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
1	*10/19(土)	日本医師会生涯教育講座 【耳鼻咽喉科】	9階大講堂	田那村理事 浅井理事
	〃	【泌尿器科】	TKP ガーデンシテイ PREMIUM 名古屋ルーセントタワー	
	*10/31(木)	【精神科】	5階医師連盟会議室	
	*12/1(日)	【小児科】	9階大講堂	
2	11/30(土)	かかりつけ医認知症対応力向上研修	豊川商工会議所	野田理事 林理事
3	R2. 2/1(土)	メンタルヘルス研修会	9階大講堂	西山理事 樫尾理事
4	R2. 2/28(金)	学校関係者向け小児救急に関する研修会	豊橋市保健センター	細川理事 額額理事

3. 委員会委員の委嘱について

(1) 広報委員会委員の変更について

額額理事より説明され、岡崎市医師会から選出の浅井龍二先生から市橋卓司先生への委員の変更が承認された。

(2) 男女共同参画委員会委員の変更について

小出理事より説明され、名古屋市立大学病院から選出の小嶋雅代委員から北折珠央先生への変更が承認された。

4. 「日本医師会赤ひげ大賞」候補者の推薦について

樫尾理事より説明され、推薦候補者として、山口 勇先生(91歳 名古屋市医師会)を推薦することが承認された。

5. 令和元年度公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

樫尾理事より説明され、推薦候補者として、伊藤 剛先生(名古屋市医師会)、村上 勇先生(愛知県産婦人科医会)、久野一典先生(東海市医師会)、近藤貴史先生(豊田加茂医師会)を推薦することが承認された。

6. 難病患者支援連携会議〔10/25(金)〕について

(名古屋市西保健センター主催：西保健センター)

樋口理事より説明され、標記会議の講師として、本会職員1名を派遣することが承

認された。

7. 健康教育講座(地域開催分) [11/9(土)] について

瀬瀬理事より説明され、本会と豊田加茂医師会との共催が承認された。

8. 広域予防接種事業に係る高齢者インフルエンザワクチン接種時期の統一について

浅井理事より、令和元年度愛知県広域予防接種事業ワーキング会議 [8/19(月)] にて、広域予防接種事業に係る高齢者インフルエンザワクチン接種を、10月15日～1月31日の期間で統一する方向性を定め、令和2年度から本格運用を予定していると説明された。県医師会も会議の方針を了承し、地区医師会への協力要請を行うことが承認された。

—協議事項—

9. 令和2年度補助金・委託金の要望について

柵木会長より、令和2年度は新規事業は無いと説明され、資料の通り県へ要望することが承認された。

10. 第2回都道府県医師会長協議会 [9/17(火)] への提出議題について

大輪理事より、話題提供資料に基づき説明され、文中の文言の訂正及び地域医療の現状を踏まえつつ、労働機能(労務対策中心にならないよう)を備えた点にポイントを絞り、理解しやすくなるよう全体を練り直すこととなった。

11. その他

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 日本医師会理事会〔8/20(火)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

柵木会長より、理事打合会の議題である「地域医療構想と地域医療介護総合確保基金について」「スマホ診療の広告について」「令和2年度診療報酬改定に向けて」「福岡県医師会「外国人看護師候補者資格取得支援事業」について」「北海道議会新庁舎を全面禁煙とする要望について」報告された。また、理事会報告として、「令和2年度医療に関する税制要望の件」「第6回訪日外国人旅行者等に対する医療の提供に関する検討会の件」について説明された。

2. 中部医師会連合第1回医師確保対策特別委員会〔8/12(月・祝)〕について

(中部医師会連合主催：名古屋マリオットアソシアホテル)

伊藤理事より、日医の釜菴常任理事より「医療法・医師法改正に基づく医師偏在について」と題して基調講演がなされ、その後、各県の現状報告があったと説明された。意見交換では、医学部の地域枠医師の臨時定員について愛知県、石川県から激変緩和措置が必要であり、日医からも要望をしていただきたいとの意見があった。また、各県それぞれ事情が違い、一律の定義では割り切れるものではないとの意見があったと報告された。

3. 日医第3回医師会組織強化検討委員会〔8/8(木)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

大輪理事より、鹿児島大学地域医療学分野教授大脇哲洋先生より「鹿児島県における医師会組織強化に向けた取り組みについて」講演をいただいたと説明された。資料「平成30年度都道府県別医師会入会率」について、C会員の定義変更に係る私(大輪委員)からの要望について検討を行ったと報告された。

4. 中部医師会連合第1回地域包括ケア特別委員会〔8/18(日)〕について

(中部医師会連合主催：名古屋マリオットアソシアホテル)

野田理事より、今年度より介護保険特別委員会から地域包括ケア特別委員会へと名称変更となったと説明された。新たに就任された岐阜県の鳥澤委員長の司会進行のもと、協議が進められ、(1)介護医療院の各県の設置状況と課題について、(2)アドバンス・ケア・プランニング(ACP)に関する各県の現状について、(3)在宅における多職種連携についての現状と課題について、各県よりそれぞれ報告がなされたと説明された。

5. 日医第15回男女共同参画フォーラム〔7/27(土)〕について

(日本医師会主催：仙台勝山館)

小出理事より、毎年各県にて開催されるフォーラムであるが、医師の働き方改革や地域医療構想等を含めた医師確保の問題とは、今や無関係には議論できない流れとなっていると説明され、それらのことを踏まえて、シンポジウムでは、新専門医制度に対して抱く、学生や初期研修医等からの不安の声を取り上げ、問題提起がなされたと報告された。また、とりわけ専攻医の数が激減している外科や内科について、サブスペシャリティの問題も含めフロアからも活発な意見が多く出されたと報告された。

【本会関係会議について】

6. 保険医協会との懇談会〔8/20(火)〕について

(5階医師連盟会議室)

大輪理事より、保険医協会から医療・社会保障等をめぐる動向、診療報酬、審査・指導問題、地方自治体をめぐる動向、税問題について解説され、議論したと報告された。県医師会からは医政活動研究会〔8/10(土)〕、子ども医療費に関する報道等について解説し、議論したと報告された。

7. 調査室委員会〔8/6(火)〕について

(5階医師連盟会議室)

大輪理事より、令和元年度経済財政諮問会議〔7/29(月)、7/31(水)〕、日医総研資料について、解説、議論を行ったと報告された。また、医政活動研究会〔8/10(土)〕で行う講演の予演を行った。その他、Twitter 記事、MEDIFAX、日医プレスリリース等についても解説、議論を行ったと報告された。

8. 健康教育委員会〔8/7(水)〕について

(801 会議室)

(瀬瀬理事)(細川理事)

瀬瀬理事より、健康教育講座〔12月～令和2年3月分〕の講師推薦、令和2年度講座開催スケジュールの確認、元年度健康教育講座地域開催(委託事業)、あいち健康ナビ「健康コラム」執筆者について協議し、あいち健康ナビの広報について意見交換を行ったと報告された。

9. 認知症地域医療研修検討委員会〔8/19(月)〕について

(501 会議室)

野田理事より、認知症サポート医フォローアップ研修及び認知症疾患医療センター地域連携担当者向け研修会について検討を行い、グループワークで使用する事例の作成については、鷺見委員に依頼することとなり、各グループにファシリテーターを置くことが提案されたと報告された。また、認知症サポート医の手引き及び優良事例集の作成については、中村委員に作成を依頼することとなり、患者への対応だけでなく研修の企画・立案について掲載することが提案されたと説明された。その他、臨時適性検査の診断書の記載不備件数が激減していると愛知県警より報告があ

ったと補足された。

10. 男女共同参画委員会〔8/1(木)〕について

(501 会議室)

小出理事より、冒頭話題提供として、先日勤務医部会主催にて本館で開催された厚労省の安里賀奈子氏の講演資料を基に、市川副会長・伊藤理事より説明をいただき、委員からの質問やディスカッションを行ったと説明された。また11月10日に行われる富山での中部ブロック会議において、日医からの要望テーマである、県内の臨床研修指定病院における、病児・病後児保育等保育ファミリーサポートの好事例として、アンケート結果から大同病院が適当であるということで、紹介することとなったと報告された。

11. 講演会・研修会等について

柵木会長より、下記のNo.1～No.3の本会主催の講習会・研修会等は一括報告とすると発言された。

*は共催・協賛等

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	8/6(火)	愛知県医師会無線システム災害想定訓練	医師会 15 機関 災害拠点病 院 7 機関 基幹病院 6 機関	細川理事 瀬瀬理事
2	8/7(水)	産業医研修会	101 名	西山理事 樫尾理事
3	*8/17(土)	日本医師会生涯教育講座【産婦人科】	190 名	田那村理事 浅井理事

【行政、その他関係団体等会議について】

12. 日本医学会総会引継ぎ会〔8/15(木)〕について

(日本医学会主催：パレスホテル東京)

柵木会長より、医学会総会は、各医学会が連合して開催するものであることを会員に周知し、積極的に盛り上げていくこと及びソーシャルイベントの見直し(廃止・縮小)について意見を述べたと報告された。

13. 支払基金幹事会〔8/7(水)〕について

(支払基金主催：支払基金)

杉田副会長より、全国、愛知県の原審査(医科)の請求・査定件数(令和元年5月審査分)状況等について報告された。支払基金法改正については、レセプトの枚数を

基準に手数料が定められていたが、改正後はレセプト枚数及び審査の内容により手数料を階層化することとなると説明された。また、支払基金組織の見直しとして、47都道府県に設置されていた支部を廃止し権限を本部に集約し、新たに審査事務局(47ヶ所：審査員の審査補助業務を担う)を設置する。なお、レセプト事務点検業務は10ヶ所程度に集約することとなると説明された。

1 4. 令和元年度第1回愛知県小児慢性特定疾病児童等地域支援協議会〔8/2(金)〕について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

樋口理事より、愛知県内の小児慢性特定疾病児童の支援者が集まり開催され、愛知県より、県内における小児慢性特定疾病医療給付状況、自立支援事業実施状況について報告された。その後、各関係機関より、小児慢性特定疾病児童の支援の現状や障害者総合支援法による日常生活用具給付事業と児童福祉法による小児慢性特定疾病児日常生活用具給付事業では、同一物品において補助額が異なることについて意見交換が行われたと説明された。

1 5. 令和元年度第1回愛知県認知症施策推進会議〔8/20(火)〕について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

野田理事より、認知症施策、あいちオレンジタウン構想認知症に理解の深いまちづくりモデル事業進捗状況について議論が行われたと報告された。

1 6. 令和元年第1回愛知県介護労働懇談会〔8/7(水)〕について

(公益財団法人介護労働安定センター主催：住友生命名古屋ビル)

林理事より、令和元年度第1回愛知県介護労働懇談会が8月7日に開催され、事前アンケート調査の結果に沿って議題が進んだと説明された。介護労働者が不足する中で、収入が少ないと離職する方も少なくない傾向があると報告された。また、外国人介護人材の受け入れについては、「積極的に受け入れたほうが良い」よりも「人員不足の時のみ受け入れたほうが良い」が半数以上を占め、県も留学生など積極的誘致をしていると説明された。

1 7. 令和元年度愛知県広域予防接種事業ワーキング会議〔8/19(月)〕について

(5階医師連盟会議室)

浅井理事より、広域予防接種事業に係る高齢者インフルエンザワクチンの接種時期統一について愛知県広域予防接種事業運営委員会委員と市町担当で議論を行ったと説明された。ワーキング会議の意向としては10月15日～1月31日の期間で統一することとなり、統一へは地区医師会への協力が不可欠となるため、本会より地区医師会へ協力要請することの方向性を定めたと報告された。なお、実施については可能な市町村は今年度から試験運用し、正式運用は令和2年からとすることとなったと説明された。その他、連絡票への公印押印について、公印に代

わるものを印字する方法(公印刷込用紙等)でも可とするよう、質疑応答集の一部を改正することとしたと説明された。

18. 愛知県環境審議会〔8/19(月)〕について

(愛知県主催：愛知県議会議事堂)

小出理事より、冒頭、愛知県環境基本計画改定について事務局より説明があり、それについて意見交換を行ったと説明された。社会や環境の急激な変化に伴い、プラスチックごみ・気候変動等新しい課題に取り組む必要性や、AI等経済や技術システムの大転換に伴い、大企業だけでなく中小企業も参加可能な施策を考慮すべきとの意見が出されたと報告された。また、浄化槽保守点検業者登録の見直し・豚コレラ対策・SDGs未来都市選定についての説明がなされたと報告された。

19. 2019年度第1回愛知県子ども・子育て会議〔7/23(火)〕について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

小出理事より、愛知県子育て支援課事務局より、本年度で区切りとなる「あいち はぐみんプラン 2015-2019」の進捗状況の説明があったと報告された。当初設定した目標値に到達できていない項目の中に、小児科の診療制限の割合が低下しているとの部分があり、それについて、現在の地域医療構想を踏まえた診療科の偏在や地域偏在、また、今後の小児救急も含めた小児科の在り方について私(小出理事)より説明を行った。また、地域支援センターの情報との連携をしながら、次期「あいち はぐみんプラン」の設定に生かしていくことを確認したと報告された。

【その他事項について】

20. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

令和元年 8月22日